

## スナメリ、入りました

沼田町化石館の収蔵資料に、現生のスナメリの骨格標本が加わりました！スナメリは日本に生息するネズミイルカのなかまの一種で、東北以南にしか生息しておらず、現在は絶滅危惧種となっている、大変貴重な生物です。

今回の標本は、2024年3月に兵庫県南あわじ市の海岸に漂着した個体で、サイズや骨の特徴から、子どもの個体であることが分かりました。博物館に収蔵されている現生イルカの骨格標本は、自分たちで個体の回収から“骨づくり”を行うことがほとんどで、この標本も、現地の研究者からスナメリの漂着の受けた翌日に南あわじ市から沼田町まで郵送し、沼田町での解体・除肉・煮込み作業までを学芸員が行いました。解体時には、頭部や胸ヒレのCTスキャンを用いて内部の骨の配置を記録したり、化石鯨類を研究する福井県立恐竜博物館の一島副館長のレクチャーを受けることで、より多くの情報を引き出すことができました。

スナメリの骨格標本の追加で、日本に生息する現生ネズミイルカのなかまを全種類収蔵することができました。成長段階や個体差の比較にむけて、今後も現生標本の積極的な収集が望まれます。



## 3Dプリンタでレプリカ制作

3Dプリンタを用いて鯨類の耳骨のレプリカを制作をしました！  
新たな手法で制作したレプリカは、*Archaeobalaena dosanko*（フカガワクジラ）の耳骨で、2023年にCTを用いて取得した3Dデータをもとに、約1週間で制作しました。これまで化石館で行ってきた、伝統的な「型取りタイプ」の手法は、入り組んだ部位や複雑な形状の標本はレプリカ制作が難しいため、3Dプリンターにより、標本を傷めず、かつ超短時間でレプリカが制作できるようになることは非常に革新的であるといえます。



実物標本

レプリカ（無着色）

レプリカ（着色）

## 長野学芸員退職のご挨拶

この度、沼田町化石館を退職することとなりました。ヌマタネズミイルカのレプリカ制作をはじめ、収蔵庫の移転事業、化石体験館の展示リニューアルや特別展などの展示制作やナイトミュージアムの開催、ミュージアムグッズの制作、スナメリの骨格標本の制作など、色々な事業に携わり、学びの多い素晴らしい時間を過ごさせていただきました。また、活動をとおしてたくさんの方々にお心を寄せていただきました。4年間ありがとうございました！

沼田町化石館だより 2024年3月号 第146号  
発行 / 沼田町化石館 編集 / 長野あかね  
〒078-2202 北海道雨竜郡沼田町南1条4丁目  
電話 / FAX 0164-35-2132 / 0164-35-1210  
メールアドレス kyoiku@town.numata.lg.jp（教育委員会）  
ホームページ <http://numata-kaseki.sakura.ne.jp/index.shtml>



(体験館 HP)



(公式 Facebook)

化石体験館の旅はまだまだ続く。これからもお楽しみに！